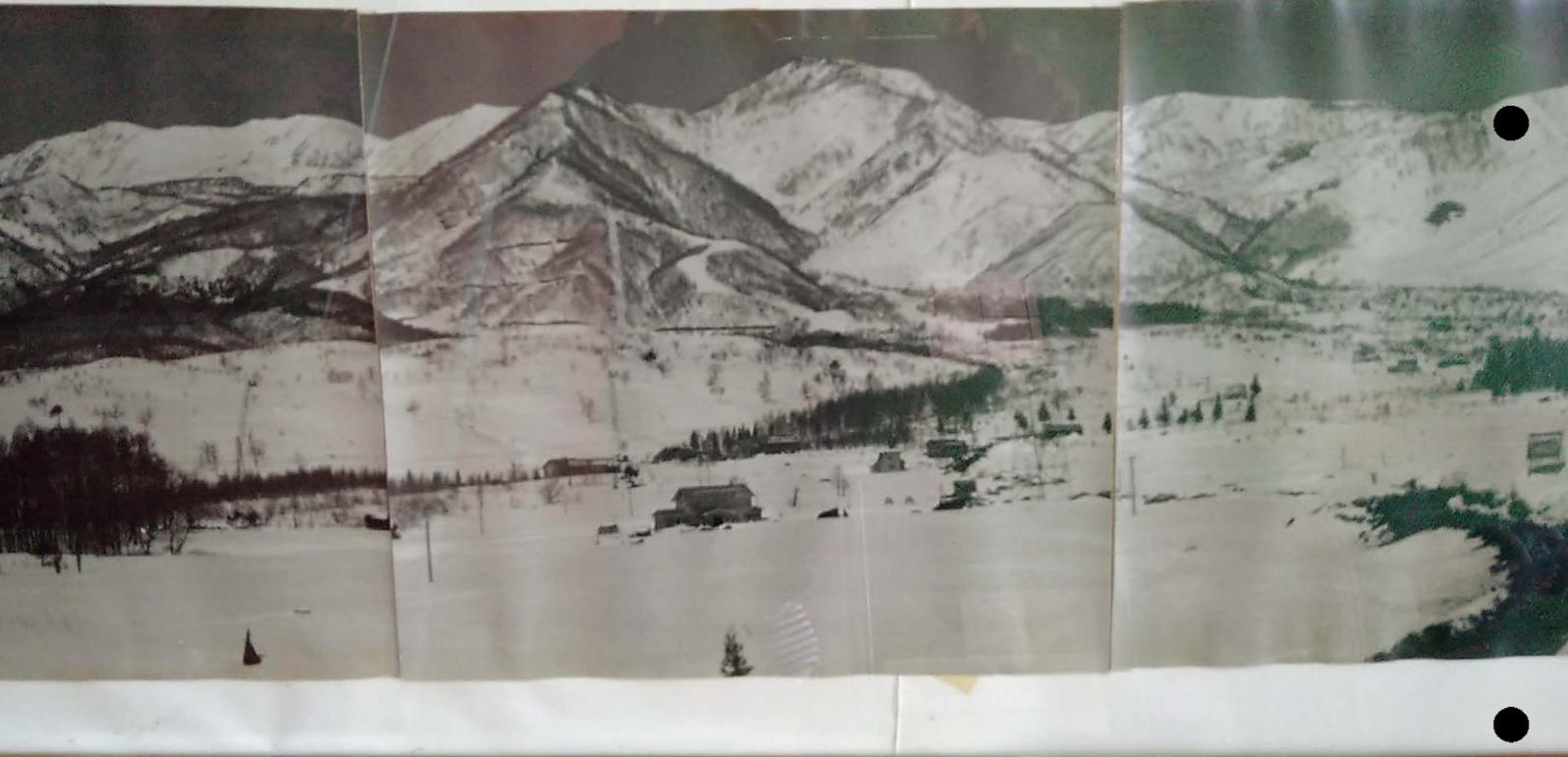


柕池 昭和38年ごろ



議長就任あいさつ・議会構成……………②

新人議員のひとこと……………③

補正予算・報告事項の審議 5月臨時会、6月定例会……………④～⑤

委員会報告（総務・経済・議会運営）……………⑥

村政を問う……………⑦

一般質問……………⑧～⑮

広報委員会後記 「議会議員一般選挙・議長・副議長選挙」 ……⑯

議長 挨拶

「小谷村議会議長就任にあたり」 吉澤 学



小谷村議会議長就任にあたり、一言御挨拶申し上げます。小谷の里山と木々の緑が一段と色濃く感じられる季節となりました。

コロナ感染症が観光立村小谷村の観光に暗い影を落として三年目に入ります。併せて冬の大雪で、村内地域に雪害が発生しています。今まで経済委員長として、「コロナ感染症で倒産を出さない」をモットーに取り組んできました。理事者側も、しっかり取り組んでいただき、近隣の市町村と比しても小谷村は補助金、給付金支給をしっかりと取り組めたいと思います。そ

して、コロナ感染症も、ワクチン接種の効果が出て大分減少してきていると思われれます。一日も早く、コロナ前の状態に戻る事を祈るばかりです。

議会も今まで粉骨碎身に奮闘していただいたベテラン議員が勇退され、新人議員が加わりました。活発な意見も論議されていますので、大いに期待をしています所です。

私も、議長として二年の任期中、大糸線、特に南小谷～糸魚川間の存続問題、事業者のコロナ感染症対策、国道148号線の改良、平成七年七月十一日の豪雨災害を教訓とした防災対策、白馬高校の定数割れ問題、脱炭素問題、ロシアのウクライナ侵攻による諸物価の高騰値対応（生活弱者支援）等問題が山積みで

ありますので、しっかり取り組みたいと思います。最後に小谷村の益々の発展と村民の皆様方のご健勝をお祈り申し上げます、就任の挨拶といたします。



眺望の郷より

議会構成

議長	吉澤 学	議会運営委員会 (議会運営・諸規定等担当)	委員長	宮澤 正廣
副議長	柴田 友造	副委員長	田原 富美子	
総務委員会	(環境・福祉・医療・税務・ 消防・防災・教育等担当)	委員	清水 秀雄	
委員長	吉岡 久人	委員	吉岡 久人	
副委員長	宮澤 正廣	委員	宮澤 正廣	
委員	柴田 友造	委員	田原 富美子	
委員	相澤 穂子	委員	宮澤 正廣	
委員	曾根原 恵子	委員	宮澤 正廣	
経済委員会 (観光・農林・治山・建設・ 上下水道・特産等担当)	委員長	清水 秀雄	北アルプス広域連合議会	
委員	田原 富美子	委員	柴田 友造	
委員	横澤 英喜	委員	吉澤 学	
委員	深澤 英喜	委員	柴田 友造	
委員	吉澤 学	委員	柴田 友造	
副委員長	曾根原 恵子	委員	吉岡 久人	
副委員長	横澤 英喜	委員	吉澤 学	
委員	田原 富美子	委員	宮澤 正廣	
委員	相澤 穂子	委員	宮澤 正廣	
SPF豚畜産環境対策協議会	委員	横澤 英喜	委員	
委員	深澤 英喜	委員	横澤 英喜	

新人議員挨拶

1番議員 横澤 匠

この度は多くの皆さまより温かいご支援をいただき心からの感謝を申し上げますと共に、これからの責務の重さを痛感しております。

小谷村も人口減少や少子高齢化社会という大きな課題を抱えています。子育て世代や若者から高齢者が安心して暮らせる、住んで良かったと思える村づくりに村民の皆さまと共に努力してまいります。

皆さまの声を歩いて聞いて村政に反映させ、地域に元気をとりもどし、住み続けたい村づくりを目指します。



2番議員 田原富美子

この度の村議会議員選挙におきまして、村民みなさまのあたたかいご支援により当選させていただきましたこと、心より感謝とお礼を申し上げます。

少子高齢化が進む中、みなさんが安心して、健康に暮らしていける村づくり、そして小谷村に移住したくなる様な環境づくりが必要で

村の将来を託す子供の育成のため、安心安全な野菜の提供と共に、親子で土に触れての野菜づくりができればと考えています。

地域の方々とお会いし、お話し、みなさまのお役に立てるよう議員活動に取り組んでいきたいと思えます。

みなさまのあたたかいご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

3番議員 柴田 友造

村の諸問題課題に対し、二元代表制の一翼を担う議会として、行政としっかりと連携し、今まで以上にその役割を果たしていかなければなりません。コロナ禍という大変困難な状況下であります。多くの課題解決に向けて、行政と一体となつて進め、村民の「負託」に応える議会にしたいと思います。

これからの2年間、副議長として議長をサポートするだけでなく、村長及び村執行部と適切な緊張関係を維持しながら本村の発展、地域活性化を進め、村民の安定のために全力を尽くします。

円滑な議会運営ができるよう微力で至らない点があると思いますが、一生懸命頑張っていく覚悟でございます。よろしくお願いいたします。

4番議員 清水 秀雄

今回の村議会議員選挙において当選をさせていただきました。ご支援をいただいた多くの村民の皆様へ感謝をいたします。年齢は68歳になります。政治経験は全くありません。先輩議員を参考にしながら議員活動をさせていただきます。

「活力ある持続可能な村づくり」をテーマにいくつかの公約を訴えてまいりました。喫緊の課題として、大糸線の利用促進対策・買い物・交通弱者への支援対策・景観の保護、空き家廃家対策・中山間地農業振興対策。いずれも早急に行わなければなりません。

私は是非々々々々を貫いてまいります。そして、費用対効果を検証しながら村の事業を見守っていきたく思います。村議会議員の立場をしっかりと受け止め努力してまいります。

5番議員 相澤 稔

あつという間に2ヶ月が経とうとしています。6月定例会が閉会になり少しだけホッとしています。村議会議員に運よく当選できてから、議会のこと村政のこと、自分なりに勉強しようと思いましたが、なかなか複雑で幅広く、改めてその職責の重さを実感しています。今までのように自分の身の回りを中心にした視点から、村の多くの皆様の思いや願いに寄り添った視点への転換が必要と考えています。

初心を忘れず、これからの4年間精一杯頑張ります。



補正予算・報告事案等を審議

5月臨時会

件名	内容	審議結果
損害賠償の和解並びに額を定めることの専決処分報告	スキーコース整備車両の方向転換中での他車との接触の賠償 他2件	議会の委任による専決処分手項
小谷村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告による期末手当の額の改定(年0.15月引下げ、再任用職員年0.1月引下げ)	可決(全員賛成)
小谷村特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告による期末手当の額の改定(年0.1月引下げ)	可決(全員賛成)
小谷村議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告による期末手当の額の改定(年0.1月引下げ)	可決(全員賛成)
小谷村税条例等の一部を改正する条例について	地方税法等の改正に伴う条例改正	可決(全員賛成)
小谷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	基礎課税額を63万円から65万円へ改定 後期高齢者支援金等課税額を19万円から20万円へ改定	可決(全員賛成)
令和4年度小谷村一般会計補正予算(第1号)	5,800万円追加 総額43億5,400万円 小谷村事業復活支援金、雪害等による村有施設修繕料 他	可決(全員賛成)
小谷村監査委員の選任について	松澤 米雄氏(桐池南) 清水 秀雄氏(議会推薦) 令和4年5月10日から	同意(全員賛成)

6月定例会

◆ 専決処分報告

件名	内容	審議結果
令和3年度小谷村一般会計補正予算(第10号)の専決処分報告	5,700万円追加 総額 47億1,500万円	承認(全員賛成)
令和3年度小谷村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)の専決処分報告	1,630万円減額 総額 3億2,870万円	承認(全員賛成)
令和3年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第4号)の専決処分報告	700万円減額 総額 8,820万円	承認(全員賛成)
令和3年度小谷村簡易水道事業会計補正予算(第5号)の専決処分報告	収益的支出 27万円追加 総額 1億8,461万3千円 資本的収入 796万円減額 総額 7,054万4千円 資本的支出 796万円減額 総額 8,720万円	承認(全員賛成)
令和3年度小谷村下水道事業会計補正予算(第3号)の専決処分報告	収益的収入 4万9千円減額 総額 2億2,829万4千円 収益的支出 17万6千円追加 総額 2億2,643万4千円 資本的収入 6万9千円追加 総額 1億100万5千円 資本的支出 6万9千円追加 総額 1億98万7千円	承認(全員賛成)
損害賠償の和解並びに額を定めることの専決処分報告	バックホウでの排雪作業中の物損の賠償 他1件	議会の委任による専決処分手項

◆ 一般報告(報告のみ)

件名	内容
令和3年度小谷村一般会計繰越明許費繰越計算報告	文書広報一般経費 以下19事業 1億6,886万7,000円を次年度へ繰越
令和3年度小谷村一般会計事故繰越し繰越計算報告	空き家利活用対策事業 215万9,000円を次年度へ繰越
令和3年度小谷村簡易水道事業会計予算繰越計算書	雨中配水管布設替工事 1,033万円を次年度へ繰越
出資法人の経営状況報告(株式会社 道の駅おたり)	総売上額1億8,196万円(前年比99%) 当期純利益額△505万円
出資法人の経営状況報告(株式会社 おたり振興公社)	サンテインおたり 4,444万円(前年比118.6%) 雨飾荘 5,277万円(前年比98.5%) 桐池山荘 3,109万円(前年比106.3%) ビジターセンター(自然園) 1,448万円(前年比125.7%) キャンプ場 116万円(前年比93.6%)
令和3年度小谷村教育委員会事務事業の点検及び評価報告	おたり学校園運営委員会の運営、公営おたり塾運営、希少チョウの住民共働による保護・啓発活動の継続、スポーツ振興 など

◇ 議案

件名	内容	審議結果
令和4年度小谷村一般会計補正予算(第2号)	6,600万円追加 総額 44億2,000万円 新型コロナウイルス対策支援金等	可決 (全員賛成)
令和4年度小谷村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	390万円追加 総額 3億4,730万円	可決 (全員賛成)
令和4年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第1号)	100万円減額 総額 9,300万円	可決 (全員賛成)
令和4年度小谷村簡易水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入 400万1千円追加 総額 1億6,371万4千円 収益的支出 403万1千円追加 総額 1億4,698万7千円 資本的収入 583万円追加 総額 6,727万1千円 資本的支出 200万円追加 総額 9,539万1千円	可決 (全員賛成)
令和4年度小谷村下水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入 403万4千円追加 総額 1億6,575万9千円 収益的支出 481万7千円追加 総額 1億6,318万5千円	可決 (全員賛成)
売買契約の締結について	除雪ドーザー 11t級1台の購入 金額 1,707万2,000円 糸魚川重機工業株式会社小谷営業所	可決 (全員賛成)
令和4年度小谷村一般会計補正予算(第3号)	7,800万円追加 総額 44億9,800万円 物価高騰対策支援費、子育て世帯給付金等	可決 (全員賛成)
教育委員会委員の任命について	松澤 彰一氏 令和4年7月1日から	同意 (全員賛成)

◇ 請願・陳情

付託委員会	件名	提出者	審議結果
総務委員会	女性トイレの維持及びその安心安全の確保についての陳情書	女性スペースを守る会 ーLGBT法案における「性自認」に対し慎重な議論を求める会ー 共同代表 飯野香里/井上恵子 永田マル/山田響子	趣旨採択 (賛成多数)
総務委員会	国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	海事振興連盟 会長 衛藤 征士郎	採択 (賛成多数)
経済委員会	水田活用の直接支払交付金の見直しに関する陳情	北アルプス民商商工会 会長 種山 博茂 長野県農民連中信農民センター 会長 滝沢 睦広	採択 (全員賛成)
総務委員会	「無実である国民が、犯罪者とされ処罰されている」現実を「命と人権、人間の尊厳にふさわしい法律」にするための、「再審法改正を求める意見書」の議会議決をお願いする陳情書	日本国民救援会長長野本部長 大北支部長 松島 博	不採択 (賛成多数)
経済委員会	柵池高原観光協会運営費の助成金についての陳情書	柵池高原観光協会 会長 栗田 浩史	採択 (全員賛成)
総務委員会	沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	辺野古を止める!全国基地引き取り緊急連絡会 代表者 福本 圭介	継続審議 (全員賛成)

◇ 議員発議

件名	審議結果
国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書(案)について	可決 (全員賛成)
水田活用の直接支払交付金の見直しについて白紙化を求める意見書(案)について	可決 (全員賛成)

委員会報告

総務委員会

小学6年生 議会見学

総合的な学習の時間でどうすればよくなるかを考える学びに取り組んでいる小谷小学校6年生21人(男11人、女10人)は、6月14日10時から一人目の議員の一般質問を傍聴しました。

この学習は昨年の6年生も取り組んだもので、児童それぞれの視点から観光や施設などの関心を持った分野で、村の魅力や課題について考えます。インタビューなどを通して現状を調べ、改善策やアイデアの提言などとしてまとめ、来年2月に予定する子ども議会を行う予定とのことです。

一般傍聴の方々には役場多目的ホール前の談話室にてモニターで議会を傍聴していただきました。ご協力に感謝します。



真剣な眼差しで議会を見守る児童

令和3年度 教育委員会 事務事業の点検及び評価報告書について

5月26日、教育委員会から説明を受け、28の事業の評価(4段階)を確認しました。B(80%以上達成)は20事業。C(50~80%未満)は4事業。D(50%未満)は4事業(コロナ禍で中学校海外交流研修等中止)。外部有識者としての意見を求められ、16項目としてまとめました。

また、6月28日に、教育委員との懇談会において詳細な説明をしました。

経済委員会

大北地区農業振興推進協議会

6月20日、第五回大北地区水田農業パワーアッププロジェクトチーム検討会が開催されました。

北アルプス地域産地パワーアップ計画(全体計画)主食用米が需要減少・価格下落の中で野菜果樹等高収益作物の導入と産地化への取り組みが課題です。

水田への園芸作物等収益性の高い品目を導入する農業経営体を支援し面積拡大と安定生産を図り、競争力ある水田農業を目指します。

小谷村営農支援センター総会

6月6日、令和三年度小谷村農業再生協議会・営農支援センター総会が開催さ

れ、事業報告、収支決算の承認(監査報告)、令和四年度農業再生協議会・営農支援センター事業計画案、収支予算案について審議されました。

議会運営委員会

請願・陳情の取扱いについて

提出は、平日の午前8時30分~午後5時00分までに議会事務局へ直接提出してください。その後、議会運営委員会にて審査を行い、委員会に付託するか、文書配付とするかを決定します(郵送による陳情については、原則、議員への陳情書の写し配布のみとなります)。

各定例会開催の前月の20日(休日を除く)までに提出されたものについては、当該定例会において審査します。

9月定例会で審査案件となる請願・陳情の提出期限は8月19日となります。



村政を問う

令和4年6月定例議会一般質問

質問通告書 締切5月31日

一般質問は、定例議会において質問通告書を提出し、1時間の制限で執行機関に疑問点や所信を問います。CATVで公開されていますが、議会傍聴に来ませんか。

〈質問項目〉【順番は質問通告書提出順で、質問議員各自でページ作成をしています。】

14日（火） 午前10時～12時23分・午後13時10分～16時23分

- | | | | |
|---------|----|-------------------------------|--------------------|
| 1、深澤 英喜 | 議員 | ① 自動車免許返納について | (8 P) |
| | | ② 10年後・20年後の小谷村の観光について | |
| 2、相澤 稔 | 議員 | ① 観光振興について | ② 移住促進事業について (9 P) |
| | | ③ 複合拠点施設について | |
| 3、横澤 匠 | 議員 | ① 杓掛古民家施設・管理について | (10 P) |
| 4、曾根原恵子 | 議員 | ① 障がい者福祉充実で地域生活を支える仕組みを | (11 P) |
| | | ② 持続可能な観光「塩の道」を村づくりの視点で | |
| | | ③ ウクライナに平和を | |
| 5、宮澤 正廣 | 議員 | ① JR大糸線の対策について | (12 P) |
| | | ② 地域交通と買い物弱者への対応は | |
| 6、田原富美子 | 議員 | ① 買い物弱者に対する施策について | (13 P) |
| 7、吉岡 久人 | 議員 | ① 杓掛古民家施設指定管理者再募集は | (14 P) |
| | | ② 牧の入茅場をどう維持し、活用するか | |
| 8、柴田 友造 | 議員 | ① 国立公園内における自然環境の保全と登山者が安全・安心に | (15 P) |
| | | 訪れることのできる取り組みについて | |
| | | ② 山村留学制度によるむらづくりと教育について | |

「検討する」の回答はどうなったか!

【質問に「検討する」とした回答は、1年間検討後に村長より再回答されます。】(抜粋)

〈質問(令和3年6月)〉

〈再回答〉

- 「再生可能エネルギーの利用、省エネの取組は業種ごとの分類と省エネ方法など」は……………
- ◆ 「令和4年1月に小谷村再生可能エネルギー導入戦略を策定した。
- 「環境の学び(講座など)の計画」は……………
- ◆ 「学びの森」においてSDGs実践編として、「気候変動・薪ボイラー見学会など」を課題とした講座を実施した。令和4年度も再生可能エネルギー等の講座を予定している。
- 「コロナ禍での補助金、給付金について」は……………
- ◆ 「事業支援として、宿泊施設などへ1部屋20,000円を給付する事業など」を実施した。



深澤 英喜 議員

問 「白馬大池」まで
観光ルート構想を。

答 「白馬乗鞍岳」までの
ロープウェイ構想はもっている。

問 免許返納について

免許証返納者への対応は。

答

村長 令和4年4月

1日現在の高齢者率38・39%。人口の約40%。

令和3年12月31日現在、村内運転免許保有者1,944名。内65歳以上689名。

令和2年以降の運転免許証自主返納者16名。

包括支援センターでは、「免許の返納を考えている」といった人に対して、住んでいる地域や個人の身体状況を勘案し、個々に合わせて利用できる公共交通を案内している。

デマンドタクシーを利用する場合は、集落支援係と連携し、デマンドタクシーの説明から申請手続きの支援、利用法など個別対応を行い必要な人に対しては実際にデマンドタクシーを予約する時や乗り込むときに

同行するなど伴走的支援をしている。

問

デマンドタクシーの利用者の状況は。

答

村長 昨年の利用状況は、運行路線（北

小谷北部地区、中谷地区・池原地区、平間・宮本地区、虫尾地区、土倉地区、黒川・伊折地区、川上地区）利用

者延べ人数、374名。本年4月から村内すべての地区への配車にした。4〜5月で約135%増。

問

デマンドタクシーは浸透しているか。

答

村長 ドアtoドアのデマンド交通の方が

地域の交通面では有効と考えている。決められたルールや運行体制を考慮した利用をお願いするなかで修正などしながら浸透させていく。

10年後・20年後の観光について

問 古民家を利用した観光再開発事業の代替案は。

答

村長 塩の道の活用

と、東山の活用である。また代替え案という観点では捉えてはいないが、小雪対策として索道事業者へ大きな支援をした事は、観光業にとって役に立つことができたと考えている。

問

「塩の道」の全体像をしっかりと協議し、修繕工事が必要では。

答

村長 塩の道の整備

は、昔ながらの道の特徴を残しつつ、安全性の確保も考慮した整備を行っていくことを当然ながら継続していく。

問

中部山岳国立公園「白馬大池」までの観光ルートを、20年後に。

答

村長 将来は、日本

中で山岳観光スポーツへの容易なアクセスの構想は当然進んでいくと思う。現段階では観光保護の規制などから、とても高いハードルである。国でも国立公園の利用促進を捉す時代、構想として当然念頭におき、考えていくべき事業。

私は、就任以来、様々な場面で話している一つに、「白馬乗鞍岳山頂付近まで、ロープウェイをかけることができたなら世界が変わる」ということがある。

村民の皆様をはじめ、関係する事業者の皆様の見解や関係省庁など、機会あるごとに話を進め、少しでも捉えるチャンスは見失うことなく進めていきたいと考えており、決して夢物語とならないよう努めていく。

問 複合拠点施設は 一日も早く有効活用を

答 皆で協議し、 力を合わせて取り組む



相澤 稔 議員

観光振興について

問 観光地域づくり審議会からの答申を受けて、すでに着手した施策はあるか、今後の取組みや構想は。

答 村長 『観光地域づくりプラットフォーム』で協議を進めてきた。塩の道や東山の活用はプランを地元以示せる段階にきた。塩の道公認ガイドの養成講座には多くの方の参加があり、この道の人を引き付ける力を感じた。日本の原風景を海外にも発信できる貴重な資源である。また、塩の道を活用したトレイルランも検討している。村内各地区での観光懇談会の開催も計画し村民の意見を伺いたい。

問 東山地域の振興策として堂津岳への乙見峠からの登山ルートは考えられないか。

答 観光地域振興課長 地図には点線で登山道らしき表示を見たことがある。地元にも意見を伺い、

実現できる可能性を確認したい。

移住促進事業について

問 移住者への住宅新築費用の一部補助は良い制度と思う。就労場所の確保はどうか。

答 村長 昨年度までの移住ポイントは実態に即していないと考え新たな制度とした。村内の就労場所は限定的であるので、車社会のこともあり90分以内は通勤圏内と捉えているが人手不足の昨今では村内でも期待が持てる。県のU-Iターンとの連携も図る。課題はやはり住居の確保と考える。

複合拠点施設について

問 施設が有効活用されていない。現在の取組み、連携の状況はどうか。

答 村長 四月からは村直営で合計10名の従事者で運営している。まず村民に施設を知ってもらう取組みを始めた。見学ツアーや

講座、教室などの開催、食事の提供やカフェ、物産販売福祉係や包括支援センターと連携した健康増進事業にも取り組んでいる。

問 施設を管理運営していたNPO法人が僅か一年で撤退したがその理由は。

答 観光地域振興課長 撤退した詳細の説明は控えたい。継続は難しいと考え、撤退を認めた。

問 計画段階から庁内での議論や関係者間の情報、意見交換はできていたか。

答 観光地域振興課長 協議は関係者で積み上げた経過がある。庁内関係者のほか、議会や住民の代表者とも検討してきた。54プロジェクト協議会で議論した。コンサルタントに丸投げということはない。

問 今回の補正予算に防音工事費として44万円計上されているがその金額で解消できるか。

答 観光地域振興課長 多目的エリアから2

階への音漏れが想定外であった。多目的エリア入口に扉を設けることで音漏れ軽減を図る。

問 施設の設置や使用料などの料金は条例、規則で定めているか。

答 観光地域振興課長 条例に則って運用している。ただし、試用期間や共益性のある利用などには使用料を減免している実情はある。

問 住民サービスの観点からもこの種の施設は村直営でなく民営が適当と考えるがどうか。利活用の検討や運営方法など『チーム小谷』で対応を。

答 観光地域振興課長 小谷村民を対象にした施設であることから、収入で施設運営を賄えることが厳しい業務となる。指定管理者を希望する事業者が現れば理想である。現在は様々な取組みを行い、施設の機能効用を村民に理解してもらう活動を行っている。



横澤 匠 議員

問 施設の運営開始予定は？

答 順当に行けば今年の冬

沓掛古民家施設・管理について

問

建物周辺の改修も含めた進捗状況は。完成・引渡日はいつを想定しているのか。

完成後の見学会を実施するのか。

答

村長 周辺工事の進捗は、建物の改修については令和四年三月にほぼ完成となっている。

一部残工事と外構工事は令和四年六月三十日を工期に工事を進めている状況。

周辺の村道前山線 沓掛一号橋の木橋工事及び残土処分、敷地内の整地も含め、六月末までには完成予定。見学会（お披露目）については、五月三日の塩の道祭り、参加者向けにお披露目を実施した。今のところ、事業開始のオープンセレモニーでのお披露目が適当と考えているところで、事業内容が決定してからの対応がベストだと考えている。

問

飲食等の提供ができる施設は指定管理者になると理解しているのか。

また、指定管理者の公募の方法はどのような方法でするのか。

答

村長 指定管理者の公募について、小谷村HPに記載のとおり、多くの方が閲覧しており、問い合わせもある。具体的には、六月一日から公募を開始。公募により、村内外等の事業者要件は定めておらず、運営体制や事業方針等を詳細にヒヤリングし、

公的施設の管理者としてふさわしいか有識者で構成する審査会で審議することになる。

問

指定管理者との契約期間は最低何年になるのか。

また、契約期間内に事業者側から辞退等による契約解除に至った場合、違約金は発生するのか。

答

観光地域振興課長 契約期間は、募集要

項にも記載してあるが、最低三年間としている。

また、契約期間の途中の解除については、村側がその事業者がふさわしくないと判断し解除する事もある。今後、指定管理者が決定し、管理協定を締結する中で、事業者に責が生じた場合は責を負ってもらう。村として、然るべき対応はきちんとしていく。

問

沓掛古民家施設運営をする指定管理者が支払う施設使用料は年額いくらか。

答

村長 施設に係る賃貸料等については、募集要項で年間の施設利用料について年間三十万円を

最低利用料、施設に関する維持管理費については指定管理者の負担としている。

問

施設利用料の年間三十万円について、消費税は含まれているか。

答

観光地域振興課長 消費税込みで解釈している。

問

施設利用料の年間三十万円についてその根拠はどこからきたのか。

答

観光地域振興課長 根拠について、具体的に認めていない。類似施設の小谷村名産館の年間使用料は二十万円。その金額については協定内で結んでいる。特に名産館より立地条件の悪いこともあるが、名産館の使用料を参考にして、この金額が妥当と判断した。

問

通年営業をするのか。

答

観光地域振興課長 通年営業を提案するが、事業者の意向に配慮する。



沓掛古民家

問

「塩の道」前山・親沢伐採木の片付けは？



曾根原恵子 議員

答

「木材利用の促進で」循環型観光に。

障がい者福祉の充実

問 障害ある人もない人も共に生きる村を。

子どもの医療費窓口無料化と同様に、障がい者の医療費も現物支給に。

答 村長 現物給付の導入は県、県下自治体の動向を見据えながら取り組む。現状では追加導入はしないが、当事者要望を聞きながら検討を進めたい。

問 障がい者就労継続支援の取り組みは。就労支援センターに、安定して働くことが困難な人も受け入れる等、村主体の支援事業を。

答 村長 生活保護法の保護施設として県の補助で運営し、不足分は村の一般財源を充てている。

就労継続支援B型事業は設備の基準・人材確保が必要。福祉的就労については管内の関係機関との連携を図る。

問 村外施設利用者に定期代等、通勤支援を。

答 村長 交通費補助金交付要綱で、定期券に半額補助をしている。

問 村内就労がかなわない事情を考慮し、補助率を上げるべきだ。

答 村長 「特別障害者手当」の周知と活用について伺う。

問 要とする重度障害の方で支給されている。窓口での障害者手帳交付時などの機会に案内している。

問 介護保険認定を受けている方も申請資格がある。障害者手帳がない場合も支給対象になる。

答 住民福祉課長 制度の周知徹底に努める。

持続可能な観光

「塩の道」

問 塩の道整備に関わる予算額と事業内容は。

答 村長 1千300万円の計上。草刈りなど人件費400万円、沓掛1号橋改修400万円、千国の庄管理・補修250万円などが事業だ。

問 千国越えコースをメインに環境整備を。

答 村長 塩の道の代表的な最も知られているコース。安全・安心の歴史的古道と位置付け、整備を進める必要がある。

問 休みどころとトイレの課題は。

答 村長 水洗化と洋式トイレなど、トイレ事情に課題がある。千国の庄トイレ改修は発注済み。維持管理の問題も含め、ルートを絞って集中的な整備計画をたてる。

休み処についてはガイドと相談しニーズに応えた事業実施を計画する。

問 前山森林整備後の伐木の片付け計画と、沓掛橋の工事期間は。環境に配慮した事業を望む。

答 観光地域振興課長 「森林環境税」を財源とし、木材利用の促進に充てる。林業者や地主との調整を行う。橋の改修は河床対応と幅員拡張で、工法は景観に配慮したものになる。

ウクライナへ平和を

問 ロシアのウクライナ侵攻と平和への思いを問う。

答 村長 いかなる理由でも軍事によるものは断固として許されるものではない。核使用も辞さない発言は、非核宣言をしている村の長としては大変遺憾だ。



宮澤 正廣 議員

問 JR大糸線の対策

答 大糸線振興会議設置

問 活性化に向けた対策は。

答 村長 すでに報道されているとおり、松本市から糸魚川市までの沿線自治体等で構成する大糸線利用促進輸送強化期成同盟会では、大糸線の活性化や振興に向けた取り組みを行うっていくこととなっている。

また、糸魚川市から大町市で構成する大糸線活性化協議会では、地元住民への利用を促すイベントも実施している。今回小谷村においても独自に活性化対策をすべきことと考え、仮称である大糸線振興会議を設置し、利用促進に資する事業を行うこととしたいと考えている。利用促進の手法として、1つめは、日常生活からの利用促進、2つめに、イベントや企画などによる非日常での利用促進、3つめが、観光面での利用促進と、3つの基本的テーマを掲げて、それぞれで利用促進事業を行うための組織を立ち上げ

たいと考えている。そして早期に振興計画を策定し取り組みへと進めていけるよう努めていく。

問 大糸線振興会議設置をもっと早く設置ができなかつたのか。

答 村長 検討していたのでこの時期になった。

問 高校に通う学生に1人3万円の補助金を出しているが増額する考えはあるか。

答 村長 増額する考えはない。

問 工夫した利活用の発信は。

答 村長 現在までの大糸線活性化協議会を主とした取り組みをお答えする。

昨年も、自転車愛好家をターゲットにしたサイクルルートイン、えちごトキめき鉄道車両(雪月花)の南小谷への乗り入れなどイベント列車事業を行っている。これらの発信は主としてインターネットによるものとのことである。

さらに大糸線応援隊を募集し、応援隊には様々な情報を発信しているところである。昨年12月時点では、500人程度だったが、応援隊会員が、JR西日本の大糸線に関する報道がなされてから会員数が4倍以上に急増していると聞いている。

大糸線の論議がマスコミから発信されていることにより、逆に大きな情報提供になっているのが現在の状況である。良い意味で捉えれば、これからの大糸線に係る活性化事業を行うことは、全国区で様々な注目や小谷村を発信できる機会であるとも考えられる。村民が一丸とな



存続を望む大糸線

て、大糸線を転機に、様々な取り組みや活動をアピールできるチャンスでもあるため、これから手を取り合って協力、連携した村らしい取り組みをしていく。

地域交通と買い物弱者への対応は

問 免許返納後の生活足の確保は。

答 村長 令和4年度よりデマンドタクシーの大幅な見直しをした。移動支援についてはこれまで村民へのニーズ調査等を行い、観光工商係、集落支援係、包括支援センターと連携を図り、見直し検討を重ねてきた経過がある。包括支援センターでは、運転免許証返納者・高齢者への生活支援が重要なことから、「免許の返納を考えている」、「これから返納するつもり」といった人に対し、住んでいる地域や個人の身体状況を勘案し、個々に合わせて利用できる公共交通について紹介している。

問 移動購買車への支援について

答 デマンドタクシーの利用と移動購買車の継続



田原富美子 議員

問

少子高齢化や過疎化によってお年寄りのみの世帯が増え、以前からの経済情勢から小売店がなくなり、足腰が弱くなり車の運転免許も返納するなどして、買い物をするのに不便を生じているのが現状です。買い物に困っている世帯の数は。

答

村長 5月31日現在で、村内の世帯数は1,190世帯で、このうち80歳以上で構成されている世帯は177世帯あり率からすると約15%となります。約100から170世帯前後の方が困っているのではないかと考える。

問

J Aの移動購買車に対し、補助金を支出買い物支援をいただいておりますが、売上に比べフードロス、人件費、燃料代車両維持費など経費が多く赤字経営となっています。このままだと経営上成り立たない

なっています。事業継続が困難と考えられます。赤字補填に対する補助金の支援は可能か。車両購入費について全額支は可能か。

答

村長 移動購買車については、以前はマイクロバス形態で運行を行っていたのですが、狭い道路は出向けないというところで、平成20年に軽トラックタイプの追加車両購入時に、福祉事業の一環として1/2の補助をしております。その後、軽トラックタイプのもので2台で稼働したいということで、平成28年に同様な補助をしており3台分合計で417万円を補助している。JAからも2台運行の体制や、生鮮食品などの販売ロスの現状は聞いている。現状では、経費や赤字補填に対する補助は考えていませんが、高齢者の見守りを行っていたくなど、連携した事業が可能であれば支援を考えた

と思いますし、補助した車両が有効に利用されていないのではないかとこのことについては、組合長との面談時にも話し合っている経緯がある。また、車両の全額補助については、車両の状況、運行体制なども聞きながら、過去同様に補助できるかについて判断したいと考えている。

問

村として買い物弱者への支援は。

答

村長 買い物弱者については、6月から白馬便のデマンドタクシーが運行していることから、デマンドタクシーの利用を勧め、伴走支援をしている。また、JA移動購買車サービスは、高齢者にとって大切な社会経済支援となっているため、今後も継続していただきたい。その他、生協や、まごころ食材など利用できるサービスについてを紹介している。

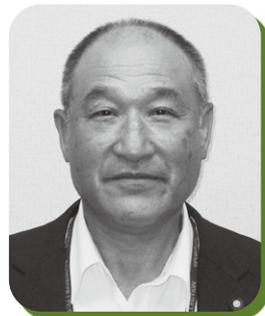
問

5年後10年後、もし移動購買車が閉店に追い込まれたとしたら、白馬の大型スーパーや村にあるローソンなどは、このような事業をおこなってくれるのか。

答

観光地域振興課長 3年ほど前に調べたことがあり、白馬のデリシアは募集はしているが、商品はすべて買取りになる。ローソンは車両は用意するが、車両の審査が大変で月に規定以上の売上げがないといけない。個人でやってみようには厳しいと思う。





吉岡 久人 議員

問 沓掛古民家指定管理者再募集は

答 現在、募集中で 7月末審査会予定



道路に落雪しないよう曳家された沓掛古民家

問 辞退経過について。

答 **村長** 令和3年10月8日公募開始。1社

の募集あり。11月30日に副村長を委員長に外部審査員8名により審査会実施。結果、提案の事業内容は募集要項にも適しており、古民家の魅力を活かせる提案であると判断し指定管理候補者とした。翌年1月25日付で候補者より辞退。理由は事業者の諸事情もあり、答弁は避けるが、候補者自らが辞退された。

問 反省点と今後の予定は。

答 **村長** 辞退したこと

の公募内容によるものとは考えていない。この2年間のコロナウイルスに係る影響で、多くの経済・環境など観光面での形が様変わりしている。これを踏まえた、今後の予定は、昨年と同様の飲食店を基本とした営業施設として公募を行う。7月末には審査会を行い、候補者を決定し、直近の議会で議決をとることで指定管理者となる。12月のウインターシーズンのオープン時期となる。12月のウインターシーズンのオープン時期となる。12月のウインターシーズンのオープン時期となる。12月のウインターシーズンのオープン時期となる。

問 当初計画のシェアオフィスはコロナ禍の現在、人気があったのでは。

答 **副村長** 村民に受け入れられず残念。その後検討委員会で飲食形態に。

牧の入茅場の維持・活用

問 平成18年に文化庁「ふるさと文化財の森」制度が創設され、現在

全国86か所が認定されている。地権者でつくる親沢北観光委員会によつて今日まで維持管理されてきた牧の入茅場が平成26年3月24日に全国53番目に認定され、長野県では唯一こだけで村の財産と思われるが、この制度PRされていない。近くに沓掛古民家施設を中心としてできないか。

教育長 この制度は山野から供給される木材、

答 檜皮、茅、漆等の植物性資材を算出している全国における産地を文化庁が認定し、文化財建造物の保存修理での資材安定的な確保を目指しているもの。牧

の入り茅場の茅（カリヤス）によつて保存修理された文化財建造物について、案内プレート等の設置や住民向けにも広く周知していくことを検討する。

問 地図を凹凸（高さ）で表現した壁掛けがある。茅でふるさと納税のお

礼品（鶴亀の縁起物、村章等）。また、茅の草木染はどうか。

答 **教育長** お礼品として活用できるようなれば、返礼品に限らず、お土産品としての活用も考えられ、茅の新たな魅力発信につながる。

問 茅職人を増やすため、特化した協力隊員導入や茅に関する条例は。

答 **教育長** どこの家でも茅屋根を構えている状況ではなく、趣味の世界でもなく、茅職人の活動の場はもっぱら仕事に直結しているものと捉えている。村で行うことは考えていないが、文化の継承、技術の伝承から茅職人の育成が重要であることは認識している。条例は主旨や目的を明確にして定めるもので、現時点で考えていない。今後の必要性により判断していく。

全国86か所が認定されている。地権者でつくる親沢北観光委員会によつて今日まで維持管理されてきた牧の入茅場が平成26年3月24日に全国53番目に認定され、長野県では唯一こだけで村の財産と思われるが、この制度PRされていない。近くに沓掛古民家施設を中心としてできないか。

問

「山村留学」再開の考えは。

答

「親子山村留学」を考え議論を深めている。



柴田 友造 議員

国立公園内における自然環境の保全と登山者が安全・安心に訪れることのできる取り組みについて

問

毎年、白馬大池周辺の雷鳥生息調査で生息に変化と生息を脅かす要因、保護及び自然園の獣被害をくい止める方法と植生調査する考えは。

答

村長 雷鳥の生息数は今のところ大きな変化がない。生息を脅かす要因はキツネや猛禽類だが、最も脅威は「人」であり、特に越冬する樹林帯のすみかに立ち入り禁止看板を設置している。定点カメラを設置し鹿の生息を監視し昨年4か月間で114回撮影され撮影回数が増えている。植生の変化は、世界全体の温暖化の影響によるもの大きいと考ええる。植生調査が必要ならば有識者と相談していく。

問

白馬大池周辺は、携帯電話が圏外で気象

などの情報が得られない。登山者の安全安心のため通話や情報を得られる施設整備の考えは。

答

村長 遭対協や山小屋関係者と連携し、総務省などへ不感地地域解消の要望をしている。

問

コロナで減収、ヘリ輸送費の高騰により山荘の存続が危ぶまれている。登山者の安全安心のため「無くてはならない」重要な施設。何らかの支援が必要。

答

村長 村として支援を考えなければならぬ。まずは国県に支援を求め、その上に立つてすべきことはしていく。



8月上旬の白馬大池

山村留学制度による村づくりと教育について

問

統合小学校開校時と現在の児童減少率が約40%になっている。令和20年度までの児童見込み数を伺う。

答

教育長 開校時の平成18年度178名、今年度111名、令和10年度96名の見込み、令和15年度以降は60名規模が予想される。

問

山村留学を導入した経過、目的、教育面で、どのような効果があり、村として、どう位置づけ、20年余り行った「山村留学」の検証と評価を伺う。

答

教育長 複式学級が最小限に抑えられ学習環境確保の観点から当時の効果は非常に大きかったと認識している。現時点での検証は特段行っていないが効果としては、村内で事業を営んでいる方や、社会人になった今でも村を訪れ、村の応援

団が全国に居ることは大きな効果と言える。

問

現在の小学校全校児童数は111名、近い将来、1クラス10人以下となり全校で60人を割る可能性はある。その状態になった時の教育をどう考えるのか。山村留学を開始した当時の心配を再びしなければならぬ。一度止めた山村留学の再開は難しいと思うが、「山村留学」再開の検討をする考えはあるのか。

答

村長 山村留学は私の願うところでもあり。センター方式での集団生活ではなく「親子山村留学」が良いと考え、議論を深めている。



山村留学センターから片道4km通学(当時の写真)

■選挙結果「立候補者 12 氏 (定数 10)」

氏名	投票数	歳	行政区	派	経歴
田原富美子	246	62	石原	無	1期
宮澤 正廣	189	69	蕨平	無	3期
相澤 稔	188	71	北雨中	無	1期
柴田 友造	181	63	長崎	無	1期
清水 秀雄	179	68	下里瀬	無	1期
曾根原恵子	171	72	千国	共	4期
吉澤 学	134	70	宮本	無	3期
吉岡 久人	122	65	李平	無	2期
深澤 英喜	112	56	梅池南	無	2期
横沢 匠	108	53	梅池南	無	1期

広報委員会の後記 議会議員一般選挙

- 村民人口 2,691人
- 有権者数 2,263人
(男1,160人 女1,103人)
- 投票数合計 1,826票
(内無効票 13票)
- 投票率 80.60%
(男79.22% 女82.05%)

区	投票所	行政区	有権者	投票数	期日前	不在者	投票率
1	小谷村社会体育館	梅池南・梅池北	451名	243票	104票	3票	77.61%
2	千国公会堂	千国・五区・峯・立屋・若栗・蕨平・里見	463名	155票	195票	4票	76.46%
3	多目的ホール	川上・平間・池の平・月岡・黒川・伊折・土倉・南雨中・北雨中	478名	166票	231票	5票	84.10%
4	サンティンおたり	虫尾・下里瀬・石原・日道	221名	73票	100票	—	78.28%
5	池原基幹センター	池原下・池原・石坂	82名	47票	26票	—	89.02%
6	曾田公民館	太田・中通・上手村・曾田・奉納	126名	63票	45票	2票	87.30%
7	中土観光交流センター	白岩・黒倉・外沢・清水山・瑞穂・長崎・中谷東・中谷西・松本・神久・千沢・高地・真木・大草連・田中・小谷温泉	189名	83票	72票	3票	83.60%
8	北小谷観光交流施設	来馬・下寺・島・塩坂・湯原・三ヶ村・深原・李平	170名	71票	62票	1票	78.82%
9	大網公民館	大網・姫川温泉・戸土	83名	57票	13票	—	84.34%

■議長・副議長選挙

【議長選挙】

氏名	立候補順	投票結果
吉澤 学	自薦	6票
宮澤 正廣	推薦(深澤議員)	4票

【副議長選挙】

氏名	立候補順	投票結果
柴田 友造	自薦	6票
相澤 稔	自薦	3票
曾根原恵子	自薦	1票

編集後記

最初に前回「126号」について誤った情報を記載しました。関係各位様・読者の皆様にお詫びを申し上げます。また、内容の訂正をお願いいたします。一般質問「深澤議員」のページです。「特産室長」を「観光地域振興課長」へ訂正をお願いします。

今号から、新しい広報委員会にて「議会だより」を制作させていただきます。少しでも多くの村民の皆様に興味を持っていただき、読んでいただけるよう、新しい内容を取り入れながら作成して参りますのでよろしくお願いたします。また、村民の皆様からのご意見をお聞きし反映させてまいりたいと思います。

(広報委員長)